〝市政の主人公は市民である〟を基本理念として

留萌市長 五十嵐悦郎

　このたびの市長選挙におきまして、私は市民の皆さまの温かいご支持を得て、再び市政を担当させていただくことになりました。これは、私が市長就任以来「市政の主人公は市民である」を基本理念に市政の運営に傾注してきたことに対しての評価と、今後への期待を示すものであり、私は、その義務と責任を深く認識し期待にこたえるべく努力することを誓うものであります。

　しかしながら、過去一期四年間の市政に対してご意見もいただきました。私は、これを謙虚に受けとめると共に、新たな決意のもとに市政の最高責任者として身を引き締め、市政発展のため粉骨砕身の努力を傾注してまいる所存であります。

　私は、常に市政は市民のためのものであり、市民の暮らしを守り、向上させ、幸せを築くためにあると信じてまいりました。

　そのため、市政の執行に当たっては、市民参加の市政を基調に留萌の将来像である「海と大地に未来を創造する都市」の実現に向けて、更に着実にその歩みを進めてまいりたいと考えております。

　今、私たちの社会は二十一世紀に向かって大きな転換期にさしかかっております。高齢化、国際化など新しい時代への波が押し寄せる中で、これに適確に対応し、真に実りある豊かな人間社会として、次なる世代へ引き継いでいけるまちづくりを真剣に進めなければならないまことに大切な時期でもございます。

　このような中で、本市が推進しなければならない施策は山積しておりますが、とりわけ、コースタル・コミュニティ・ゾーン整備計画の実現、留萌ダム、高規格幹線道路深川・留萌間の早期完成などの大型プロジェクト、そして、生活基盤の整備、産業の振興、教育の向上、市民福祉の充実などは、留萌市が大きく飛躍するための基礎づくりの事業であり、どれ一つを取りましても大事な事業であります。

　従いまして、これらの事業促進を図ることが私に課せられた至上命令であることを自覚し、当面する諸問題の解決に努めると共に新たな課題に取り組む姿勢で、更に一歩も二歩も進めることによって実質的な促進、効果をあげてまいりたいと考えております。

　もちろん、よりよい市民生活、市民福祉の向上を図るためには膨大な資金を要しますが、今、必要なことは「何をなすべきか」ではなく「如何にすべきか」であり、そのためには価値ある財政投資、財政運営の工夫に努めると共に、これまで培った各市町村、道、国との大切なつながりを一層深め、留萌に生まれ、育った市長として、こよなく愛するわがふるさと留萌のために努力してまいりたいと思います。

　なにとぞ、皆さまには今後共よろしくご指導、ご協力を賜わりますようお願い申し上げ、ごあいさつといたします。

観光施設・道路などをさらに重点整備。

平成2年第1回定例市議会が3月15日から開催され、初日の本会議席上、五十嵐市長が市政運営や主な事業について市政執行方針を述べました。
新年度の予算は、市議会最終日の27日可決されました。
そこで、今月号ではこれらの概要についてお知らせします。

　現代社会は、日進月歩する技術革新、高度情報化など、社会経済情勢が大きく変化しています。この二十世紀の留萌市を後世に誇れる時代とすることを課題に、この十年で何を為すべきかを真剣に考え、市政運営をしていかなければならないと考えています。

　留萌市は、まちづくりの実現をはかる大きな柱として、「ゴールデン・ビーチ・リゾート整備構想」を策定し、本構想の実施計画とも言える「留萌海岸コースタル・コミュニティ・ゾーン整備計画」が平成元年七月に建設省の認定を受け、地域産業の活性化はもとより新たな観光産業の創出による二十一世紀を目指した誇れるまちづくりへのスタートをきりました。

　また、高規格幹線道路深川・留萌自動車道の事業化による整備促進、留萌ダムの早期着工など、留萌地域も新しい時代を迎えました。これを機会に、官民一体となって実行ある地域経済の活性化に取り組む考えです。

　さらに、高齢化社会への対応は、医療、健康や雇用など広範囲にわたる施策が必要とされ、国や自治体の重要な課題となっています。本市においても、昨年、高齢化社会対策推進計画を策定したところで、この計画に基づき心のかよい合える地域づくり、地域福祉の充実を積極的に努めてまいる考えです。

　これらの現状の中、平成二年度の市政執行にあたっては第三期留萌市総合計画を尊重し

①産業の育成と経済の振興
②保健医療と地域福祉の増進
③生活環境基盤の整備と快適な都市機能の充実
④教育・文化の推進と国際交流

の柱を中心に主要施策に取り組みました。

　それでは、予算の概要について、お知らせします。

平成2年度予算の概要

一般会計予算額は127億3，474万円

　この度の予算編成にあたっては、市財政の長期的展望の下、行政の効率化による経費の節減に努めると共に、限られた財源の重要的かつ優先的な配分に徹しつつ、一層市民福祉の向上を図るため、「第三期留萌市総合計画」に基づく諸施策を中心に取り組みました。

　このような方針の下に編成した予算は、一般会計127億3，474万円（今回、議会提案分30億8，986万円を含む）。特別会計55億474万円（今回、議会提案分12億2，300万円を含む）、総計182億3，949万円（今回、議